



善正寺だより

掲示板法話

「おかげさま」知られる身こそ有難い



皆さんは暑い夏をどうお過ごしでしたでしょうか？私は腎臓に結石のできやすい体質で、今年冬に右の腎臓結石を破砕、続いて夏に左の腎臓結石と二度目の結石破砕術を受けました。注意すべきことを医師に尋ねると、「どんだん水を飲みなさい。汗をかいたら更に沢山水分を取って下さい」とのご注意です。ですから常に水筒を持参して、水分補給する夏を過ごしました。蛇口をひねれば、飲み水が飲めるお蔭を感じます。そんな国は日本だけではないでしょうか？海外で生水を飲めば激しい下痢を起こすでしょう。水を飲むたびに思い出す俳句があります。それは漂泊の俳人・種田山頭火の句で、「一杯の水も仏の涙かな」という句です。生きるために水分を摂るのは必要不可欠ですが、私が生かされるためにみ仏様から恵まれたお慈悲の涙なのだ、という味わいに深い感動を覚えます。

ドライな現代人は、「水道料金を払っているんだ。感謝など無用。何を悠長なことを言っているのだ」と物笑いの種にするのでしょうか。だが、何でも金銭に換算して、「値打ちがあるか、ないか？損か得か？」のものさしで価値判断するその生き方が人を切り捨て、自分自身も生きる意味が分からないうと嘆きの人生にしてしまう闇をはらんでいるのです。「歳をとって働けなくなり、ただ食べて寝るだけの身が情けない。家族に迷惑かけるだけだ」と愚痴の虜になっている人の何と多いことでしょうか。

「夏が来たら冬がええと言ひ 冬になりや夏がええと言ひ 借りた傘も雨が上がれば邪魔になる 金を持つたら古びた女房も邪魔になる 所帯を持ったら親さえも邪魔になる 乾ききった味気ないこの頃 衣食住は昔に比べりや天国やが 上を見ては不平不満 隣を眺めては愚痴ばかり 何で自分を見つめないのか 静かに考えてみるがええ 一体自分って何やろう 親のお蔭 先生のお蔭 お蔭の固まりが自分やないかい いくら長う生きても 幸せのど真ん中においても お蔭さまが見えなけりや 一生不幸せ。これは上所じゅうすけさんの詩です。

仏法に遇い「お蔭さまが知らされる身こそ有難いことよ」とお念仏申さず

☆行事ご案内☆

◇小杉町追悼法要 9月22日(日)

午前10時:物故者、午後1時:戦没者

講師:釈徹宗先生(大阪池田市、相愛大学教授)

主催:小杉仏教会、小杉長寿会、三全仏教婦人会

◇第9回百五銀行門徒展作品募集中阿倉川支店に10月の1か月間展示、11月善正寺報恩講にも本堂に展示。皆様の作品ご応募を!

◇絵手紙教室 9月10日(火) 10時、46回目川崎光子先生、

◇歌声喫茶 9月19日(木) 1時、原則として第3木曜日

◇キッズサンガ 9月7日(土) 4時、鐘撞きは毎日夕方5時

募集◇初参式の赤ちゃん、幼児を大募集! 来年4月18日「(土)

午後1時、千円、三全仏教婦人会主催、地域で子供の誕生を祝福

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索。1年分寺報閲覧

毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評

開設11年で30万訪問達成。悩み相談大歓迎、即返信します。

◇一緑会テレホン法話 TEL059-354-1454お電話下さい

3分間で三重組5か寺の住職、坊守、若院らの法話が週替り

で流れます。来年早々18冊目の法話集出版予定、結成36年

◇お礼令和元年度門信徒会費にご協力賜り厚くお礼申し上げます

◇新納骨堂:後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

法事場所でお困りの方:本堂使用可。寺にご相談下さい。



狸も聴聞と伝わる石像(於盛岡・願教寺)

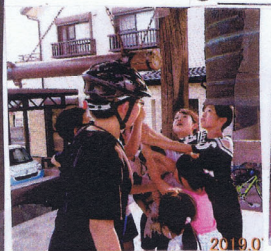


におれません。

ホットニュース

◇9月22日(日)午前、午後小杉町主催「追悼法要」に大阪池田市如来寺住職の釈徹宗先生をお迎えします。著書多数、NPO法人施設長、宗教学者、落語法話等、今一番注目される先生です

☆ 写真アラカルト ☆



島地黙雷和上

和上は、本願寺の僧侶で、浄土宗の修行者として知られる。和上は、浄土宗の修行者として知られる。和上は、浄土宗の修行者として知られる。

坊守スケッチ

あえぎ

喘ぎながら生きる



いよいよ私も古希です。周囲には私を含めて、高齢者が溢れています。

階段が上り辛い、正座ができない、耳が遠くなった、目もボンヤリ、歯も抜けた、毎日医者のはしこ、診察券の束と薬の山でパンクしそうです。去年まで難なくできたことが、年を重ねる毎に負担になり、いつまでこんな仕事をさせられるのかと、ため息が出ます。

日本の平均寿命は世界トップで、女性が87歳、男性が82歳。健康寿命はそれよりも10歳短く、晩年は病気と共存して生きなければなりません。

一方では元気な高齢者もいて、自分の趣味仲間と明るく活動している人もいます。しかしやがて友達も音信不通になり、家族や親戚とも疎遠になり、近所付き合いも希薄になって、大半の人が寂しい老後を過ごしています。

先日牛乳代の集金に来た男性(73)から伺った話です。牛乳配達の仕事はきつくて、入れ替わって3人目です。「あなたは早朝何時頃から配り始めていますか?」「前夜の10時半から市内の近辺を配り、市外は軽トラで午前1時から3時頃まで配っています」「それでは深夜寝ていないのですか?」「ええ、新鮮で美味しい瓶牛乳を一刻も早くお届けしたくて、寝ている暇を

惜しんで配ります」「特に暑い時期には、牛乳箱に保冷材を入れて頂き、細かいお心使いに感謝しています」「ええ、それが私達の仕事ですから。スーパーで紙パック入りの安い牛乳が買える時代に、わざわざ値段の高い瓶牛乳を取って頂くだけでも有難いです。でもこの仕事もきつくて、何歳までできるか心配です。毎日喘ぎ喘ぎしながら生きています」と言った。

男性の仕事への誇りと使命感が、元気に働く秘訣だろう。私も喘ぎつつ、たまには愚痴を言いながら生きていくが、皆さんに必要とされる坊守になる為に、一生懸命精進したいと思う。

むんむんと水含みたる草繁る 釋妙水
ぶら下がる竿に玉葱四つづつ
冷茶飲む草刈る人の喉鳴らし
老鷲の調べ清かに寺の庭 釋清風
みちのくの街に風鈴響きけり
浄土なる池を巡りて蓮の花
緑陰の坂上り来て中尊寺
老若の才セロ白熱夏座敷
水遊び濡れて楽しき親子かな

「寄稿」
水谷勝子様・服部邦子様、他匿名様よりお志や葉書等、感謝。

★若院夫婦の「育自な日記」57
今年の夏休み、長女のお友達を招いて夏を満喫する一日を過ごしました。7月末の三日間は、住職が岩手県盛岡市願教寺様第88回夏季仏教講座に出講、坊守も同行して不在。外出ができないので、退屈な子どもたちのために、お友だちを呼ぼうと思いついたのです。お招きしたのは長女の幼稚園の同級生Sちゃん(4)とその兄(7)とその弟(1)とお母さんです。昼食をどうするか相談した結果、流しそうめんに決定!初流しそうめんの三兄妹弟は、ミニトマトやかまぼこなど、結構速く流れる具材を掴もうと必死です。そうめん以外にそばを出したら、意外に人気であつという間に無くなりました。子どもたちのお腹が満たされたから私たち母親もようやく食事ができました。机と床がビクビクするほど水浸しになりましたが子どもたちは大喜びでした。

そのあとは外で水遊びです。東側の駐車場は午後、日陰なので夏でも快適です。長男同士は水鉄砲で撃ち合い、女の子はジョウロで水撒き、末っ子君はカップでせつせと水をすくって遊びました。子どもは遊びの天才、とよく言いますがまさにその通り。なんでも楽しく面白くしてくれるので愉快な一日になりました。みんなありがとう。(若坊守)

カンパありがとう
水谷勝子様・服部邦子様、他匿名様よりお志や葉書等、感謝。



◇『第9回百五銀行門徒展』今年も10月1か月間百五銀行阿倉川支店で開催。皆様の作品を広く募集中。11月の善正寺報恩講にも本堂へ展示します。

★お寺で「歌声喫茶」次回(8回目)は9月19日(木)午後1時庫裏。第三木曜日。誰でもお気軽にご参加下さい。◇来年4月18日(土)1時三全仏婦主催初参式の赤ちゃん・幼児を大募集。★一縁会テレホン法話。059・354・1454お電話を!結成36年、来年には第18冊目のテレホン法話集発行予定。乞うご期待を!

平成31年度後半・善正寺行事案内
★小杉町仏教会追悼法要9月22日(日)午前10時・午後1時・相愛大学教授・毎週水曜日NHK『シブ5時お悩み相談』出演中の釈徹宗先生(初)
★報恩講11月2日(土)午前と夜3日(日)午前のみ。但し2日11時より正午お非時接待あります。(講師)京都るんびに園理事長・藤大慶先生
★秋勧進11月23日午前8時
★お内仏報恩講12/7午前10時半

★ 編集子より ★

「善正寺だより」三〇九号をお届けします。◇明治の傑僧・島地黙雷師所縁のお寺(盛岡市)の夏季講座に出講。明治から百年來伝統の仏縁にはるばる青森、秋田、宮城からも群参、感動の念一入。◇黙雷師の話の聞きに狸まで罷り出たとの伝説を偲ぶ石像に驚嘆。九条武子様の歌碑に沈思、唯合掌。

酷暑が続いて熱中症予報が発令される夏でしたが、お変わりごさいませんか？クララの部屋から一步も出られない人がいる一方で、野外でお仕事をされる方々のご苦勞に頭が下がります。先日NHKの中野さんに叱られる曲という番組で、「何故地図は北が上なのか？」という問題がありました。「昔からそうだから」では不十分な気がします。理由がある筈です。これとよく似た疑問で、以前方守スズキ子にも書いた「渡り鳥は何を目標に飛ぶのか？」という問題と似ています。地図や方位磁石を持たない渡り鳥が、数日間休まずに何万キロも飛んで来るのが不思議です。北極圏と南極圏を直線距離ではなく大きく迂回ルートを取りながらの大移動。昼間は太陽を目標に、夜は北極星を目標に、餌場を求めて繁殖と子育てをする為に飛び続けます。ところで私達人間は、何を目標にして生きていますか？そんなものばかり考えて暇がないとか、毎日生活するのに精一杯で悠長なこと言っておられないと言いつくす人は、渡り鳥に叱られそうです。現代は生きる目標を見失った人が何と多いことでしょうか。命を繋ぐどころか、自分一代限りで終っても構わないという人が急増。リスクを避けて瞬時の楽しみにおカネと時間を費やします。ご先祖が大事にしてきた仏様の教えに謙虚に耳を傾け、今一度立ち止まって生きる目標を自分の心にしっかりと刻みたいものです。八月には孟蘭盆会、永代経、九月には追悼法要と有難い法要が続きます。皆様の御参詣をお待ち申し上げます。酷暑厳しき折、自愛下さいませ。

令和元年九月 合掌

善正寺坊守 拝